

指定校番号	29056	学級活動	児童・生徒会活動	クラブ活動	学校行事	○	義務教育学校用
-------	-------	------	----------	-------	------	---	---------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	府中市立府中学園	校長	池田 哲哉	生徒指導主事	上 刈 亨
-----	----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『地域における奉仕活動』

取組のねらい『キーワード：地域と共に』

- ・自分が住んでいる地域の方と一緒に奉仕活動をすることにより、自分も地域の一員であることを再確認する。
- ・異年齢集団活動を通して、上級生のリーダーシップや思いやり、問題解決力を高める。

身に付させたい資質・能力

コミュニケーション能力

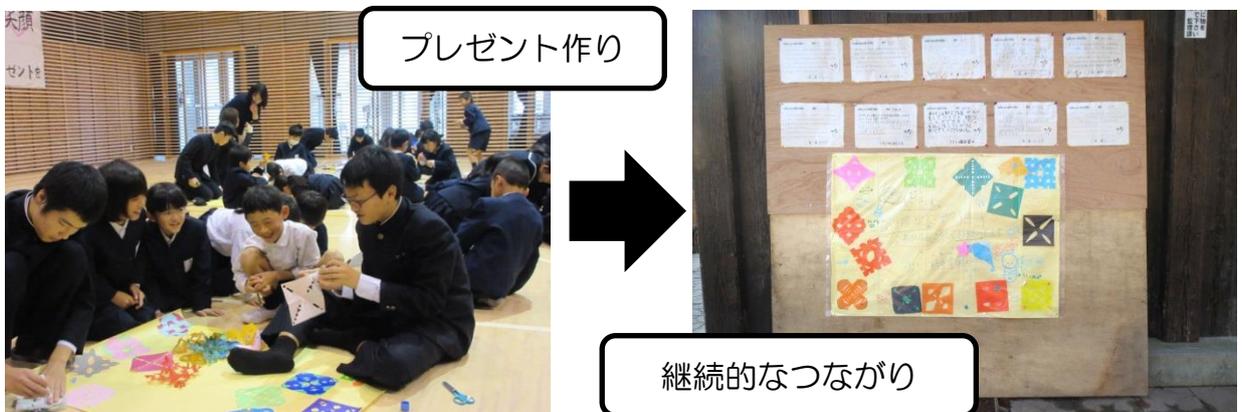
多様性に対する適応力

取組の具体的内容『キーワード：次世代リーダーの育成』

- ・児童生徒の住所をもとに、3年生から8年生を35の縦割り班に分け、8年生を中心にリーダーを決めた。
- ・リーダー会を開き、地域ごとの事前ミーティングの進め方の確認を行った。
- ・リーダーを中心とした地域ごとの事前ミーティングを開き、下校ルートや清掃場所、清掃の内容を各グループで確認した。
- ・当日は、学校と各地域に分かれて活動を行った。



- ・1年生・2年生・9年生を35の縦割り班に分け、奉仕活動を行った活動場所に飾ってもらうプレゼント作りを行った。



- ・奉仕活動後、1年生・2年生・9年生が作製したプレゼントをリーダーが中心となって地域に届けた。

取組の課題・創意工夫『キーワード：地域・教職員・児童生徒をつなぐ』

- ・昨年度の反省を踏まえ、1・2年生の安全確保のため、学校でプレゼント作りを行った。そこで9年生がリーダーになったことにより、地域においては8年生がリーダーシップを発揮することができた。
- ・事前に町内会長等に知らせることにより、当日、多くの地域の方々に参加していただくことができた。

取組の成果（効果）『キーワード：継続性』

- ・1年生・2年生・9年生が学校に残ってプレゼントを作製したことにより、活動後の地域とのつながりも持つことができた。
- ・その日の活動だけで終わるのではなく、奉仕活動後も8年生のリーダーを中心にプレゼントを持って行ったり、花の水やりに行ったりすることで、地域とつながることができた。
- ・奉仕活動を継続して行うことにより、地域や府中市教育委員会から、より多くの協力を得ることができるようになってきた。



奉仕活動場所に掲示された児童生徒の感想文

【生活アンケートより】

項目	9月	1月	差
自分の住んでいる地域のが好きですか	89.3%	90.8%	+1.5%
自分のよさは周りの人から認められていると思いますか	78.9%	80.0%	+1.1%

- ・当日の活動だけで終わるのではなく、児童生徒の声を地域に掲示したり、さらに地域からの声を児童生徒に還元したりすることで、肯定的評価が高まった。

今後の展開『キーワード：学校から地域へ』

- ・地域と児童生徒が密につながることで、地域・児童生徒主導の活動にしていきたい。
- ・地域から「何をしてほしいのか」ということを聞き、実態に合った活動をしていきたい。
- ・各地域からの声を聞き、活動場所、内容等を再検討していく。

他校へのアドバイス『キーワード：地域への情報提供』

- ・毎月行われる学校運営協議会で、取組内容や行事等の情報共有に努めている。
- ・学校便り、コミュニティ・スクール便り等で児童生徒の活動の様子を積極的に発信していく。